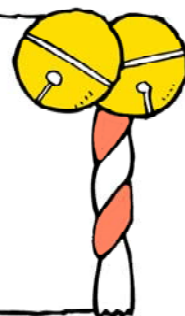




トローチはかまらずに溶かして

～風邪のはやる季節に～



最近、風邪やインフルエンザが流行しているようです。のどが腫れると、トローチのお世話になったことはありませんか？

のどの薬に多いこの「トローチ」、ギリシャ語の円盤、車輪を意味する「トロコス」に由来しています。

これは噛まずに口の中でなめることで、薬効成分が粘膜に吸収され、長時間にわたって、のどや口の中の細菌を殺したり、増殖を抑えることが目的です。

チュアブル（注※）と違って、噛まずに、ひたすらなめつくすものです。口の中でゆっくりとけるように、通常の飴より硬く作られているのが特徴です。

ところが、この硬くて大きいトローチをなめつくすという作業は、子供やお年寄りには危険。誤ってのどに入って引っかかると、窒息事故を起こしかねないのです。そのため、トローチには穴が開いているのだそうです。

また、トローチは「5歳未満には使用させないように」とされています。

ともあれ、できるだけ薬のお世話にならないよう過ごしていきたいものです。

外出から帰ったら、うがいもしっかりと。



注※「チュアブル」・・・最近、カルシウムなどのサプリメントにも多いですね。「噛む事ができる」という意味で、口の中で噛み砕いて飲むものです。甘いもの、ミント系の味のするものが多く、水なしで飲めることから、主に胃薬に多いようです。（文責：玉村かおり）